

海外支援プログラム実験終了報告書

2019年4月9日

実験者1 (氏名・所属) : 藤井翔太・北九州市立大学 環境技術研究所
実験者2 (*1) (氏名・所属) :
研究代表者 (氏名・所属) : 藤井翔太・北九州市立大学 環境技術研究所
中性子散乱課題番号・装置名 : 18912・SANS-U
実験課題名 (*2) : 完全に単分散な逆ミセルの構造可視化
利用施設・装置 : ANSTO・BILBY
利用期間 : 2019年3月23日 ~2019年3月30日
実験の概要 (*3) : クロロホルム中で形成されるカプセル状粒子の構造を解明するために、中性子を用いた中性子散乱実験を行った。

(*1) 1人のみ支援を受けた場合は空欄でお願いします。

(*2) 物性研中性子共同利用で採択された課題名です。

(*3) 簡単な記述で構いません。この報告書の提出をもって、旅費が支給されます。また、実験終了後2ヶ月以内に物性研 ISSP-NSL Database (<http://quasi.issp.u-tokyo.ac.jp/db/index.php>)から activity report の提出をお願い致します。